



年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。
 ご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。
 令和2年は想定外のコロナ禍に翻弄された年となりましたが、役員各位のご理解と協力を得て毘沙門台学区社会福祉協議会を構成する19団体の心が一つになるよう改革に取り組みました。
 また、コロナ禍における心身の健康を維持増進するための施策に取り組みましたが、早期終息の期待もむなしく、師走に入り第3次、第4次の感染者急増の緊急事態となりました。ご承知のように、広島市発着の移動制限や飲酒を伴う利用の時間制限の発令など年末年始

の過ごし方も制約される状況にあり大変憂慮しております。
 本年には、「コロナワクチンの接種」開始が予定されており、コロナ終息を祈念しております。
 皆様にとって、健康と幸せな年となるよう願っています。
 十二支の2番目で、芽吹きを迎えようとする丑年にちなんで、社協といたしましても、新たな気持ちで「住んでよかった毘沙門台」実現に向けさらに注力をしてまいります。ご支援とご協力を切にお願い申し上げます。



会 長 林 裕

昨年のご報告

学区社協ではコロナ禍終息後に、我が国の社会の激変が予想される中、諸課題を整理しつつ、様々な改革にチャレンジしてまいりました。その経過についてご報告します。予期しない事態に遭遇した時の選択肢は、事態が収束するまでじっと耐えるのか？

それとも、コロナ感染回避に細心の注意を払いつつ、可能なことにチャレンジする道を選択するのか？ 慎重に検討した結果、終息後に予測される社会の劇的な変化に対応する準備が大切と考え、後者を選択し取り組みました。

具体的な成果としては、

- (1) 毘沙門台集会所裏の、保育園建設予定地を広島市と折衝し、大規模災害時には防災拠点として活用、日ごろは住民の交流広場として整備し、子どもからお年寄りまでが楽しめる設備を整備し、地域コミュニティ広場として活用する計画案を提示し、広島市から事業採択されました。R3年4月に仮オープンに向け、準備作業に着手しました。



昨年のご報告(つづき)

- (2) 第二毘沙門台4丁目のF区のり面を整備し、親子の体力UPを目的とした「のり面活用計画」案を安佐南区に提案し、「絆くらぶ」の協力を得て遊歩道の整備し、見違えるほど美しい「のり面歩道」の有効利用が始まりました。



- (3) 毘沙門台小学校向け、ゲスト講師として、「地域コミュニティ授業」、「門松づくり体験授業」のほか、県立安古市高校1学年対象の「防災避難訓練」も実施しました。



- (4) 新企画行事として、親子参加で賑わった「ウォーキング in 毘沙門台」は200名を超える参加を頂き、三世代交流行事として大盛況のイベントとなりました。



- (5) 毘沙門台社協事業を抜本的に効率化するため、ICT化に向けた事業も立ち上げ、住民の皆様と連携する環境を整える一環として、「はじめてのスマホ体験教室」も開催してICT化の利便性を活用できる環境を整え取組みを始めました。



- (6) その他、東区社会福祉協議会主催、地区社協福祉推進委員研修会、五月が丘学区社協出前講座の講師などで協力し、多忙な1年でした。



- (7) 社協運営の改革に着手
R2/6月より、執行部会、団体長連絡会の定例開催、R2上期総括のオンライン理事会の開催等、すべて資料の配布と議事録を提示し、役員の情報共有を図り、課題の確認、意思統一に努めました。

